

# 会 議 録

会議名		第1回あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議	
事務局 (担当課)		経営改革課	
開催日時		平成 28 年 6 月 30 日(木) 18 時 30 分から 20 時 30 分	
開催場所		川西市役所 4階庁議室	
出席者	委員	新川達郎、藤本真里、国津元司、福元達也、伊藤繁治、山田秀一、橋本英仁、大澤茂男、池田千恵子、加門文男、赤松達也、志賀俊彦、田中まこ、吉田誠、長谷川克功、岡誠、菅原康雄、本莊重弘	
	その他		
	事務局	船曳理事(総合戦略担当)、志波経営改革課長、稲治主査	
傍聴の可否		可	傍聴者数 1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		(1)開会 (2)新たな委員の紹介 (3)議事 平成 27 年度先行実施事業の効果検証について (4)その他 (5)閉会	
会議結課			

## 審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>ご案内しておりました時間がまいりましたので、「平成28年度第1回あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議」を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会をさせていただきます、川西市総合政策部行政経営室経営改革課の志波でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>昨年7月～11月にかけて、皆様にご議論賜りました、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」につきましては、お陰様で市民の方へのパブリックコメント、市議会への説明等を経て、3月に策定し、現在、各施策を推進しているところでございます。</p> <p>この場をお借りして、改めてお礼申しあげます。</p> <p>さて、本日は、総合戦略策定前ではありますが、27年度に国の地方創生先行型交付金を活用して取組みました事業の効果検証ということで、事業実績に対しご意見を賜るとともに、それぞれの事業が総合戦略の達成に資する事業であるのかを評価いただきたく存じます。</p> <p>また、ご意見賜るにあたっては、委員の皆様が所属される団体等との連携を含め、今後の事業の展開のあり方、方向性等についてもご意見いただければと存じます。</p> <p>当総合戦略の推進のためには、行政のみならず、幅広い意見をいただきながら、共に連携、協力して進めていくことがなによりも大切なことと考えており、活発なご意見を賜りたく存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、いただいたご意見及び評価につきましては、事業の実績・評価として、国へ報告することとなっております。</p> <p>また、当会議は「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」第10条第3項の規定に基づきまして、公開となりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では次に、委員のご紹介をさせていただきたいと存じますが、時間の関係もございまして、異動等により新たに委員になられた方のみご紹介をさせていただきます。</p> <p>三井住友銀行 川西支店 支店長 赤松 様でございます。  伊丹公共職業安定所 所長 長谷川 様でございます。  阪神北摂民局 総務企画室 室長 岡 様でございます。  本日はご欠席ですが、阪急阪神百貨店 川西阪急 店長 西尾様でございます。</p> <p>新たな委員のご紹介は以上でございます。</p> <p>それではこれよりの議事の進行は、会長にお願いする予定でございましたが、事前に少し遅れると聞いておりますので、到着されるまでの間は藤本副会長に進行をお願いしたいと思いますどうぞよろしくお願いいたします。</p>

発言者	発言内容等
藤本副会長	<p>こんばんは。先生がお着きになるまで私が進行させていただきます。</p> <p>事務局の冒頭のお話にもありましたように、本日は昨年度先行的に実施していた事業の効果検証と、皆様からいろいろな意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>皆さんは事業の当事者であり、それぞれの分野の専門家でもあります。そういう立場から意見をいただければと思ひます。</p> <p>また、会議は概ね2時間程度を予定していますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、資料1平成27年度先行実施事業【個票】をご覧ください。</p> <p>こちらには平成27年度に国の地方創生先行型交付金を活用して実施した10の事業について、実施内容、効果、今後の方針を個票にまとめたものでございます。</p> <p>1ページから6ページまでは総合戦略の「基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす」に位置付けている4つの事業、</p> <p>8ページから11ページは「基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に位置付けている2つの事業、12ページから18ページは「基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する」に位置付けている3つの事業、</p> <p>19ページから20ページは「基本目標4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす」に位置付けている1つの事業でございます。</p> <p>事業の数もございまして、事業概要及び実施内容につきましては、説明を割愛させていただき、事業の効果について、主にご説明させていただきます。</p> <p>それでは1ページをお開きください。</p> <p>ふるさと団地再生事業についてでございます。</p> <p>本事業における効果といたしまして、親元近居助成につきましては、当初予定の120件を上回る128件の申請があり、また、ふるさと団地再生協議会につきましては、2回開催し、モデル団地における先行的な取組みなど意見の交換を行いました。</p> <p>とりわけ親元近居助成を実施したことによる直接的な効果としまして、市外からの転入世帯が58世帯あり、転入促進を図ることができたものと考えております。</p> <p>親元近居助成制度の詳細につきましては、お手元の親元近居助成制度のチラシをご覧ください。本制度に併せて、池田泉州銀行においても親元近居ローンなどの商品を開発いただき進めているところでございます。</p> <p>恐れ入りますが、スライドをご覧ください。</p> <p>こちらは、ふるさと団地再生協議会における各団地での取組みの写真でございます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 多田グリーンハイツでは買い物困難な方を対象としたお出かけ支援バスの運行の様子です。グリーンハイツ内で2コース、週2日2～4便運行しております。</li> <li>2 大和地区では地域の居場所づくりを目的とした「ニコカフェ」を運営しています。空家や店舗の空きスペースを活用して計4箇所を実施しております。</li> <li>3 清和台地区では地域のつながり、健康増進を目的としたCoウォーキングの開催をしています。清和台地域を6つに分けて、各地域で月1回実施していま</li> </ol>

発言者	発言内容等
	<p>す。</p> <p>以上のような事業展開でございますが、親元近居助成につきましては、申請書類の簡素化及び市内外への制度の効果的なPRの手法を検討していく必要があると考えていることから、改善等を図りながら事業を継続してまいります。</p> <p>続きまして、3から6ページの魅力創造事業及び「観光・住宅・結婚のPR媒体をクロスさせた女性を対象とするシティプロモーション事業」についてでございます。 3ページをご覧ください。</p> <p>本事業における効果といたしましては、梅田駅周辺において、ふるさと納税をテーマとしたデジタルサイネージや広告を掲載したところ、広告掲載後の寄付申込者のうち4.2%が広告を見たと答えていることなどから、一連の取り組みが知名度やイメージの向上につながったと考えております。</p> <p>恐れ入りますが、スライドをご覧ください。 こちらはただいまご説明した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 梅田駅周辺におけるふるさと納税のポスター掲示の様子です。</li> <li>2 デジタルサイネージでうめだ阪急百貨店の前の柱です。</li> </ol> <p>恐れ入りますが、お手元の資料1にお戻りいただき、5ページをご覧ください。</p> <p>本事業の効果事業といたしまして、ご当地愛フェイスブック登録者数は指標値に届きませんでした。交流会を通じて、様々な地域活動をする方達のつながる場となったと考えております。</p> <p>お手元にお配りしております。かわにしじゃらんをご覧ください。 こちらに掲載しております店舗につきまして、アンケートを行ったところ「じゃらんにより掲載店などへ来訪した人数」について、掲載店舗12店のうち、3割にあたる4店で、新規来店者が増えたと回答していることや、シティプロモーションサイトへ掲載した「じゃらん」川西市PRページへのアクセス数が13,000件を超えていることなどから、一定の効果があったものと考えております。</p> <p>以上のことから、より効果の高いPR方法やコンテンツを検討し、取り組みを進めていく必要があることから、市内外へのアンケート調査を実施し、これまでのシティプロモーションの取り組みの検証と今後の事業展開についての検討を行うこととしております。</p> <p>続きまして、7ページをご覧ください。文化振興事業についてでございます。</p> <p>事業の効果といたしまして、エントリー数は一定数で推移し、また、来場者数につきましても、回を重ねるごとに増加してきておりましたが、市民のエントリーが減少傾向にあることから、今後につきましては、さらなる知名度の上昇と、川西市内の音楽文化振興発展に、より寄与する取り組みを展開するため、事業を見直ししてまいります。</p> <p>以上の4つの事業が、「基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす」に位置付けている事業でございます。</p> <p>続きまして、8ページをご覧ください。母子保健推進事業についてございま</p>

発言者	発言内容等
	<p>す。</p> <p>事業の効果といたしまして、平均助成額が前年から増えており、妊婦の経済的負担の軽減に一定の効果があったものと考えております。今後は、他市の状況等を注視しつつ、子どもを産み育てやすい環境づくりをめざして、事業を進めてまいります。</p> <p>続きまして、10ページをご覧ください。男女共同参画推進事業についてでございます。</p> <p>事業の効果といたしましては、カレッジに関する内容などのPR不足のため、目標よりも大幅に少ない結果となっております。一方、アンケート調査では、講座のカリキュラム等の内容、対象者、開催時間、開催場所などについて具体的なニーズを把握することができたと考えております。開講に向けては、カレッジに関する目的・カリキュラムなどの内容の事前周知、PRを十分に図り、多くの方が受講できるように工夫してまいります。</p> <p>以上の2つの事業が、「基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に位置付けている事業でございます。</p> <p>続きまして、12ページをご覧ください。健康づくり推進事業についてでございます。</p> <p>事業の効果といたしましては、リーダーの養成は講座の開催時期や周知が整わず、22人に止まりましたが、養成した22人のリーダーを中心に、地域やイベント等へ35回派遣したことで、延べ 1,926 人に体操を広めることができ、普及啓発に効果があったものと考えております。</p> <p>スライドをご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー養成講座の様子です。ここで講座を受けてリーダーになる人を養成しています。</li> <li>・体操教室の様子です。オレンジ色のシャツを着て、体操を広めるリーダーの様子です。</li> </ul> <p>健幸体操の更なる普及啓発に取り組むためには、体操推進員のスキルアップや新たな人材養成について、検討していく必要があることから、活動範囲の拡大や体操推進員のスキルアップ講習会を実施するなど、事業を追加等更に発展させることとしております。</p> <p>続きまして、14ページをご覧ください。地域分権推進事業についてでございます。</p> <p>事業の効果といたしましては、コミュニティ組織において一括交付金を活用し、それぞれの地域の資源や人材等を活かした事業が展開されております。</p> <p>一方、各コミュニティ組織においては、新規事業等を実施するにあたり、担い手の確保に苦慮していることから、今後は、更なる情報共有を図りつつ、自治会の会員確保と円滑な運営や継続的な活動を促進し、地域の取組みの実現に向けて、市からの強力な支援が必要となるため、事業を追加等更に発展させることとしております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>続きまして、17ページをご覧ください。若者政策推進事業についてでございます。</p> <p>事業の効果といたしまして、相談申込件数については、相談が2回目へつながるケースが少なかったことや、若者への周知方法が足りなかったことから、目標よりも大幅に少なくなりましたが、一方で、本人が相談に訪れた結果、若者キャリアサポート川西などとの連携により、2人の若者が社会生活を営むことができるようになったケースもあり、昨年度の結果を踏まえ、今年度は回数を見直した上で、広報の方法や再度相談できる体制、保護者を通じて本人に相談へ来るように促す仕組みを改めて検討してまいります。</p> <p>以上の事業が、「基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する」に位置付けている3つの事業でございます。</p> <p>続きまして、19ページをご覧ください。商工振興事業についてでございます。</p> <p>本事業の効果といたしまして、提案公募型補助金では、新たな雇用の創出や後継者の育成といった効果があり、また、新商品開発補助金では、本市にゆかりのある4つの商品の開発等が行われ、販売促進が図られております。</p> <p>スライドをご覧ください。</p> <p>一つ目の源氏うどんについてでございます。</p> <p>源頼光の鬼退治にちなんだ商品で、サンドマメを鬼退治の宝刀、ニンジン在市に希少な群落のあるエドヒガン桜、かまぼこは清和源氏の家紋にもなっているササリンドウ、出汁は猪名川の清流の力水、うどんは雲海、スジ肉は大江山の鬼に見立てたものでございます。これまではイベント等での販売でしたが、今後は市内の店舗においても販売すべく販路の拡大を図っているところでございます。</p> <p>次に、若桃コンポートでございます。</p> <p>本来であれば捨てられる若桃を活用し、ワインで漬けたデザートでございます。</p> <p>本日皆様にご試食いただければと、ご用意させていただきました。お酒の苦手な方はお控えいただいた方がよろしいかと存じます。</p> <p>お味はいかがでしょう？先日開催された桃の即売会であわせて販売いたしましたところ即完売したものでございます。</p> <p>次に菊炭でございます。市北部の黒川で生産しております菊炭を生活の中に溶け込ませた商品でございます。</p> <p>菊の花のような断面で、風情があることから、お茶席で扱われる菊炭ですが、炭の消臭効果に着目して、さまざまなアレンジを加えたものでございます。</p> <p>最後に、壱熟カレーでございます。</p> <p>市の特産品であるいちじくを活用し、大阪青山大学とのコラボで作成され、平成24年から販売されておりましたが、平成26年に5つ星ひょうごに認定されたことから、パッケージ、チラシを刷新し、販売促進を行ったものでございます。こちらは皆様のお手元にご試食用としてご用意させていただいておりますので、よろしければご自宅等でご賞味ください。昨年度は販促により4000食以上の販売となりました。</p> <p>ご説明いたしました提案公募型補助金及び新商品開発補助金の今後におきましては、本事業が就労・起業から商品開発、事業拡大といった一連の事業の中で、連携による相乗効果が見込まれるため、事業を継続的に実施していくこととし</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>ております。</p> <p>以上の事業が、「基本目標4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす」に位置付けている事業でございます。</p> <p>以上、ざっぱくではございますが、平成27年度に国の地方創生先行型交付金を活用して実施した10の事業についてのご説明とさせていただきます。</p> <p>ただいまの説明について、ご意見を伺いたいと思いますが、レジュメの議事のところにありますように、3つの視点を持ってお話いただければと考えています。</p> <p>市の自己評価を踏まえ、実績に対する感想を含めた全体評価はどうか。</p> <p>今後の方針を踏まえた上で、今後工夫すべき点、配慮すべき点はないか。</p> <p>今後の展開における協力体制として、委員の皆さんを含む事業者の方が協力できる、またはもっと協力を求めていくべき事柄がないか。</p> <p>といった視点です。それぞれの視点でもって、実施した事業をもっと良いものに、発展させていくためのお時間にできればと存じます。</p> <p>国でもこの総合戦略の各事業について1度決めたら5年間続けてくれということではないというふうに向っております。</p> <p>毎年それぞれの成果・業績と言うものをしっかりと見据えていただいて、修正すべきものは修正をして次のステップに進めていただきたい。</p> <p>特に本年度からの交付金については毎年見直しがあるようなことを暗におっしゃっておられますので、そういうことも含めて、ぜひ良い事業にしたてあげていくように皆様方からの意見をいただければと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、どの事業からといったことはございませんので、お気づきの点など、ご意見はございませんか。</p>
委員(池田)	<p>先程紹介いただいた「きんたくん健幸体操」ですが、本学で開発し、リーダーの育成も本学の教諭が実際に行いました。</p> <p>私も2年半前のミーティングの時から参加していたのですが結果については今知りました。</p> <p>その当時からどのくらいの人達にこの体操を普及するのですかと問いかけをしていました。</p> <p>本日の資料におきましても、延べ数とのことですが、一昨年9月からスタートしておりますので、1年半くらい実施していると思われます。</p> <p>この1,926人という数は当初の予定より多いのでしょうか。</p> <p>私からすれば少ないと思っています。</p> <p>検討している段階でも、まずシニアの人達が病気にならないための部分と、椅子に座ってできるものというご説明と、幼稚園児でもできるというようなものと4種類あって、年齢層ごとに分けて設計しています。</p>

発言者	発言内容等
	<p>この 1,926 という人数は結局どういう方々が実際に参加されたのかわからないし、今後施設等に展開していくというお話ですが、具体的にどのような団体を考えているのか、何かあれば教えていただきたいです。</p> <p>また、リーダーの数が少ないということでしたら、本学の教諭がもともと指導させていただいており、教諭だけでなく学生もおりますので、ご相談いただければ今後の支援の観点から、ご協力の話もいたします。DVD に出ていたのも本学の学生ですしね。</p> <p>一斉に健幸体操強化ウィークみたいなことを設定して、普及啓発するというのも考えられます。そういうことも検討いただき、お声かけいただければ、この数をもっと増やせると思います。</p>
会長	<p>それでは事務局からご質問も含めてお話いただけますか。</p>
事務局	<p>ご質問いただきました 1,926 人という数字と当初の目標はいくらだったのかという質問についてお答えさせていただきます。</p> <p>当初何人という目標を、当初掲げておりませんでした。</p> <p>今回実際の効果を国に指標として求められていた部分はリーダーの育成でございました。</p> <p>それだけだと分かりづらいということで実際どれくらいの方がリーダーになってどれくらいの方に広まったのかと、こちらで独自に調査し、1,926 人という数字の報告を担当課から受け、今回ご報告させていただいております。</p> <p>つきまして、当初より多いかどうかというものについては担当課もそこまで考えていたか、事務局で把握できておりません。</p> <p>また、年代の関係でございます。今回の報告にも書かせていただいておりますように、今後といたしまして、様々な年代の方に広めていきたいと考えております。</p> <p>今回参加されていた方も多くは高齢者が多かったと聞いております。</p> <p>やはり幼稚園などで小さいお子さんにも親しんでいただけようにしていく必要があり、今後広めていきたいという思いで報告書に書かせていただいております。以上でございます。</p>
委員	<p>私もきんたくん健幸体操は映像では初めて見ました。</p> <p>本気で普及を考えるのであれば幼稚園とか小学校では授業等で必須にして、大げさかもしれませんが毎日朝 5 分なり時間をとって全員がやる。ここまでやってもいいんじゃないかと思えます。折角いろんな観点で開発されていると思いますので、行政として、そこまで本気で取り組んでいただければと思いました。</p>
委員	<p>その関連です。私はコミュニティの代表でこの場にはおりますが、コミュニティとか自治会では夏にラジオ体操をやりますので、この時にきんたくん健幸体操を取り入れるのが良いかと思えます。</p> <p>通常は、NHK のラジオ体操を聴きながらやりますが、代わりに、きんたくん健幸体操を聴きながらの方が、参加者も楽しいのではないかと思います。</p> <p>今は高齢者ばかりで若年層に行きわたっていないので、学校や幼稚園にも広められてはどうでしょうか。</p> <p>これからお祭りもあり、幼稚園児なども参加されるので、盆踊り代わりに踊れると</p>



発言者	発言内容等
	<p>いった工夫をしたいと感じました。</p> <p>やはりもう少し地域も取り組んでいかないと、市の方でこうだよ、リーダーが教えに行くよといっても広がらないと思います。一番身近なところで、ラジオ体操から代えて、実施できればいいなと思っています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>コミュニティで取り組んでいただくと、すごく嬉しいです。学生が一生懸命つくっている場面を見ておりましたので。ありがとうございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ぜひ活用方法を全市あげて皆さんで工夫をしていただければと思います。</p> <p>他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>地域分権の点でお話させていただきますと、今までは地域分権ができるまでは補助金制度ということで動いておりました。補助金というのは単年度決算にしていけないといけないということで大きな事業ができない。</p> <p>未来に向けてどうやっていこうかと考えても単年度だと予算の問題で、できなかったです。今回、地域分権の一括交付金のおかげで、事業を計画的に進めやすくなりました。</p> <p>これは正直、予算云々の問題以外に私たちは感謝しています。</p> <p>私たちの地域では、防犯カメラを早くつけることや、早く公園を整備していくことができるようになってきますので、地域が主体的かつ計画的にまちづくり・地域づくりをしていくためには良い制度だと思っております。</p>
会長	<p>もっと工夫の余地はないですか。</p>
委員	<p>私たち、市民がスキルをアップすることですね。</p> <p>もう私たちの中には、60歳以上の方が多いですから、若い方に入っていただいているんな事業に携わってもらいたい。</p> <p>自治会も同様だと思いますが、いかに若い方に参加していただけるか、どう持っていくかというのも、今一番大きな問題です。</p> <p>定年退職を迎え、時間のある人だけがやるのではなくて、現役で仕事も頑張っておられる方が参加してそこに憩いの場ができて仕事以外のものでも精力的にまちづくりしていただけたらいいと思います。</p>
会長	<p>仕組みとして、そういう若い人だとか次のリーダーを育てるとかそういうプログラムがあればいいですね。</p>
委員	<p>あったほうがいいと思いますね。私たちとしてもできるだけ若い方に入っていただきたいです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この辺りもそれぞれの地域自治の仕組み・形はできていますが、中身が参加し</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>ている方々に持続的に活動できるような組織にしていくためにも、まだまだ一工夫、二工夫、行政と市民の皆さんが協力してそういう方向を考えていく必要があるかもしれません。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>2点ほどあります。1つは3ページの魅力創造事業のことです。梅田駅のメインの通りでポスターを掲示してということですが。川西は住んでみたいまちとして、事業の成果にあったような格好いい感じもいいと思いますが、ぜひ日本一の里山という辺りもアピールしていただきたいです。日本一の里山を皆さんで守ってくださいというようなメッセージも、川西にしかできない重要なメッセージなんじゃないかなと思います。</p> <p>寄附をしよう、里山を守って、菊炭を守ってというような自分が貢献したいと思うようなポイントじゃないかなと思います。</p> <p>昨日、クラウドファンディングの勉強をしていて、行動経済学者の佐々木周作さんという人がネット上で1分か2分のアピールをしてそれに少額多数の寄附を集めるという主旨で、どういうことで皆が寄附するのかというお話をされていました。</p> <p>例えば「何百万と寄附されています」と、皆やっているというのを示すと思わず、自分も寄付するとか、ある程度傾向と対策みたいなのもあるので、それも参考にするといいのかなと思います。</p> <p>イメージでポスターを出すのではなく1分とか2分でもう少し深くアピールする。本当に何が大切でこれから子ども達に残すのは何が大切かというのを割と一般市民も真剣に考えているんですね。</p> <p>そこにアピールするように、日本一の里山を守っていくことの意味を伝えるとともに、人と自然の博物館といった関係機関なども活用していただきたいです。</p> <p>岩槻先生みたいな人にここは日本一の里山と言っていただくとか、そういうのも含めてぜひ里山をアピールしてそれで寄付を募っていただきたいです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>アピールの仕方、それから今後の財政を考えると、お金の集め方ということも大事かもしれません。新しい仕組みづくりも含めてもっと総合的に進めてはどうかということかもしれません。</p> <p>その他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>17ページにあります、「地域のきずなを深め多世代交流を促進する」についてです。</p> <p>引きこもりの方、相談件数24件に対して社会生活を営むことができるようになった若者が2名というお話です。</p> <p>実際この場面をみたことがないですが、こちらに書いてあるように「月4回相談窓口を設定しても保護者の方だけで次につながらなかった」ということから、こうしたらどうでしょうかというお話です。</p> <p>例えば新潟市では空き店舗を活用してNPO団体が地域のシニアの人達に対して、何でも屋さん、草むしりとか雨戸を直すとか、若い人でないといけないことをするために、引きこもりの人達を雇用してやっている団体があります。</p> <p>もう一つ、岡山ですが、やはり空き家でシェアハウスをしていて、ひきこもりの人</p>

発言者	発言内容等
	<p>達が住んで地域の困っている人たちのために草むしりをしたり、お手伝いをしたりしています。</p> <p>何を言わんとしているかという結局、居場所がなくて自分のお家にいる人たちは、家を出て草むしりをしただけでも、お礼を言われ、それだけですごく嬉しいそうです。</p> <p>そこで少しずつ自信がついて、そこは野菜の直売もするのですが、人にお金を渡せるようになってきたりするんですね。</p> <p>先程、空き家のコミュニティカフェがあるというお話がありましたが、相談よりも、そういう資源を使って居場所を作るというところまで、もう少し踏み込んでいくと、僕ものぞいてみようかなという子が出てくるという気がします。</p> <p>相談となるとここに書いたように疾病や自信喪失という心労の世界になってしまうと思いますので、行政としては、居場所づくりをして、シニアの人達が困っている部分とうまく接点を繋げることができるかなと思います。</p> <p>2点の事例をたまたま知っておりましたのでお伝えしました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>私も相談窓口があってもそこへ行くことがまずハードルがあるのではないかと思います。いま先生がおっしゃったみたいにこんな居場所があれば何回目かに相談に展開するのではないかと思います。</p> <p>そんなシナリオを持った居場所づくりをやっている NPO を応援するような事業も既にやっておられるとは思いますが。</p> <p>ひきこもりを解決しないといけないから相談窓口を作るという単純なものではなくて、いろんな居場所のかたちがあってそれで救おう、救ったら相談窓口に言ってもらったら先生がいる、というものだと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>もし事務局のほうで補足があればお願いします。</p>
事務局	<p>今いろいろとご意見をいただいた居場所づくりにつきまして、既にやっているところではあるのですが実際のところニーズの把握というのがうまくいっておりません。今いただいた意見等を参考にしながら進めさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>初めて参加させていただきましたが、非常に幅広い施策をやられていて驚きました。</p> <p>その中で「ふるさと団地再生事業」なのですが、私は金融機関に勤めるものとして今回の資料を見せていただくまで恥ずかしながら知りませんでした。</p> <p>いろいろ文化の PR ですとか健幸促進等あると思いますが、最終的にはやはり若手の U ターン、J ターンを進めるためにはとてもいい施策だとは思いますが。</p> <p>ただ一方でおそらく川西市というのは転入人口が5、6千人いらっしゃるなかで128件という数字がベンチマークとしてどうなのか。やはりどの程度これが PR さ</p>

発言者	発言内容等
	<p>れているのか、今後どの程度更に力を入れるのかというのを教えていただきたいです。</p>
会長	<p>それでは事務局から補足をお願いします。</p>
事務局	<p>この120件というものですが、この制度が始まりまして3年になります。一番初めは25件程度から始まり、想定以上に反響いただき50件程度、そこから更に増やして最終的に現在120件というのを平成27年に予算化して、結果として128件きたというような状況がございます。</p> <p>この制度自体がどんどん広まって行って、さまざまなところから川西市はこういう子育てというか親元近居をしながら育てやすい環境であるというような声を伺っております。</p> <p>今後どうしていくかという部分ですが、この制度を積極的に推進していこうと考えております。</p>
委員	<p>今の事に関連して、オールドニュータウン問題についてです。</p> <p>今後、親元近居制度は非常に有効だなということで興味深く見せていただいたところでは。</p> <p>そういう中でももう少しPRといいますが、先程UIJターンの話もでしたが、最近の若者は就職するにしても、結婚するにしても、家を持つにしてもやはり親御さんの意見が意外に影響するということをよく聞きます。</p> <p>そのようなことからすると親世代の方々に対するPRというのを重点的にやられると効果ができるのかなと思ったりします。</p> <p>もし事務局のほうで何かアンケート等で分析をされているようでしたら、それを教えていただきたいなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そのあたり需要度というか市民の皆様方の反応だとか何か把握しておられる点がありましたら事務局からご紹介いただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>今のご質問につきまして詳細のアンケートのデータを今持ち合わせておりませんが、おっしゃられているように親からの勧めや、これを機に住もうというようなご意見は確かにいただいているということは聞いております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>むしろこの制度利用者の方からもう少し丁寧に話を聞かれて今後更に大きくPRしていくためにどうしたら皆さんのところに届きやすいのかということもぜひ検討していただければと思います。</p> <p>折角たくさん申請をいただいて利用実績もございますので、まずは利用者の方々の声からはじめてみていただければと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>5ページについてです。説明を割愛されてしまったのでわからなかったのですがFacebookとじゃらんのシティプロモーションについてよろしいですか。</p> <p>このじゃらんとFacebookの関連性が全く書いておらず何もわからないので、どう</p>

発言者	発言内容等
	<p>いう関係があるのかというのが知りたいです。</p> <p>「ご当地愛 Facebook のかわにしさん」というこの人になりきりになって市民を中心に情報を発信するということなのかと思います。かわにしさんになるには審査がありますとありますが、審査の基準が書いていないため、よくわかりません。20代30代の女性が興味を持つコンテンツということで、例えば60代の高齢者はSNSをしないであろうと判断して、かわにしさんに登録できないのでしょうか。</p> <p>審査の基準として、エントリーした人がどんな職業で、発信力を持っている人なのかということ、どなたがどのようにどんな基準で選んでいらっしゃるのか知りたいです。</p> <p>こういう報告をされるのであれば、アクセス数がどれくらいあって、これまでに投稿数がどれくらいあるのかというのも入れていただきたいです。</p> <p>川西市として既にFacebookをやっておられるのかと思ってチェックしたところオフィシャルなものはみつきりません。</p> <p>ないということでもよしいのであれば何故ないのかということと、もしこれがオフィシャルな市のものであれば、市からの魅力発信的な発言はどなたがやっているのか。</p> <p>市民が知りうる情報は限られていますのでお店情報とかを中心に書くというイメージがあります。</p> <p>それこそ20代30代の女性の方たちが川西市に興味を持つ情報をどんどん、親元近居制度とかにしても興味を持ってくれる発言をいくらでも発信できると思います。</p>
会長	<p>それではいくつかご質問をいただきましたので事務局からお分かりになる範囲で結構ですがよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>かわにしさんについてのご質問です。</p> <p>かわにしさんというのは、今おっしゃられていたとおり登録して審査というのは一応あるようです。</p> <p>ただ、今回議論させていただいている事業にあるようなターゲットに限らず幅広く登録いただくことができます。ちなみに、私自身も登録させていただいています。</p> <p>このかわにしさんは、実際登録した方がそれぞれの川西市内のいいところを発見されて、いいところがあったよという情報をFacebookに投稿して皆で共有しようというものでございます。</p> <p>オフィシャルのFacebookについては既にございます。</p>
委員	<p>それは市でやっているのですか。</p>
事務局	<p>川西市でございます。</p>
委員	<p>それはどこの部署の方がやっているいらっしゃるのですか。</p>
事務局	<p>実際やっているのはかわにし魅力推進室です。審査もそちらの部署でやっております。</p>

発言者	発言内容等
委員	その棲み分けとその情報発信の内容の違いはどんなふうにコントロールいらして、今のところ、アクセスはどうなっているんですか。
事務局	申し訳ございません。川西さんのアクセスの件数については今手元に持っておりません。
委員	自分が入っていたら見られますよね。自分が登録していたら自分の Facebook でアクセス数とか。
事務局	記事ごとになっているので、その記事に何件「いいね」があるかは分かりませんが。
委員	管理者であれば今週何件「いいね」があるか見られますよね。それを見ておかないと。
事務局	私では管理者ではないので見ることはできません。
委員	ただサイトだけやっても意味がないと思います。
会長	<p>おそらく事務局の方は管理者になっていないので、ご存知ないということだと思います。</p> <p>むしろこの Facebook をどれくらいの方がどう見て下さってどういう種類の人のどういうふうに「いいね」してもらって新しくアクセスしてもらうか、そういうことを分析しないと成果や効果が出てこないという仰りたいということでしょうか。</p>
事務局	かわにしさんの登録数はなかなか伸び悩んでいる状況は伺っております。数字は私も管理者ではないので確認できないのでわかりません。
委員	<p>続きですみません。とりあえず神戸でもこういう類のものをやっておりますけれども、市側からこういう方になって欲しいというオピニオンリーダー的な方に、かわにしさんになっていただき、ターゲットが求めている情報を発信してもらえよう市側から依頼して、様々な魅力・情報を発信してくださっているのかどうか。</p> <p>それをやっておかないと素人だけの発言を待っていてもなかなか期待しているような結果は得られないと思います。</p> <p>こういったウェブ関係のものはプロの方が入っていてほぼ毎週数字は出して下さるはずなので、それをやっていないのでしたら中途半端だからやらないほうがいいと思います。</p> <p>こちらの川西じゃらんというのは何部刷ってどこで配布して、結果が4店舗しか来店者が増えたというお店がないと書いてあるのですが、何部をどのあたりで配布した結果ですか。</p> <p>私はそういった数字が効果だと思っています。</p> <p>PR ページのアクセス数は 13,000 超えたと書いてありますが、いくら配布してこの数字なのか教えてください。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>作成は10,000部作成しました。3ページの概要に書かせていただいています、「具体の実施内容」でございます。</p>
会長	<p>「Facebookは調べてそれからちゃんとコントロールして下さい」「それからやはりプロが情報をアップできるようなお願いの仕方というか、良い情報が出ていないと皆さん見て下さいませんので、そこはすこし整えないとなかなかアクセス数が伸びませんのでそこは努力をしないとイケないかな」ということでした。</p>
委員	<p>この件に関して、「かわにしさん」という認識はなかったのですが、3年前から川西市は個人的に応援しているのでFacebookに登録しています。</p> <p>川西市のオフィシャルFacebookでは今、592人しか「いいね」を押していないのは少ないですね。</p> <p>登録していると自分のフィールドに情報が出るのですが600人しか見ていない。やはりそれは私個人を登録してくれている人が750人いることを思うと、個人より少ないので、これは登録者をもっと増やす方法があると思います。</p> <p>「かわにしさん」について言えば、投稿するためにはエントリーをしてくださいというのは障壁を高くしていると思いますね。</p> <p>自分で自由にアクセスできないのだったら、登録しないという方もいるような気がします。</p> <p>これはもっと敷居を低くされたらいいというのが一点と、もうひとつは「川西市を盛り上げよう会！」というのを、「いいね」を押して登録しているのですが、これはこちらの行政とは関係ありませんよね。</p>
委員	<p>民間ですね。</p> <p>こちらは2,157人登録していて、自分も「いいね」と押しているのです。</p> <p>神戸市も団体の人達が自主的にルールを作ってそこにこんなお店が出来たとか、このお店が美味しいという口コミがすごく登録者数を増やしています。</p> <p>行政がするというよりは、信頼ができるNPO団体のところで口コミをたくさん増やすと登録者数が増えます。「川西市を盛り上げよう会！」のほうが4倍近い登録者数があるのを理解していただいて、ここを見ていただいて今後どうするか検討いただけると嬉しいなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。盛り上げよう会ですか。</p>
委員	<p>「川西市を盛り上げよう会！」はうちの川西青年会議所のメンバーがやり始めたものであります。</p> <p>当然管理者等々はいます。でも自由に投稿した中で、川西を盛り上げていければいいんじゃないかという感じで始めました。</p> <p>川西青年会議所団体とは分離したかたちにはなっておりますが、想いだけはきちっと川西市を盛り上げていきたいということでやっています。</p> <p>私も先程からお話を聞いていましたけれど、かわにしさんの登録にはやはりハードルがかなり高いなと思いました。</p> <p>なかなか入りにくいし投稿しにくいですね。投稿できなければそこにたどり着くこ</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>とは間違いなくありません。</p> <p>そういうところでやはり民間団体とコラボレーションしながら任命的なもので川西のFacebookとかSNSの大使じゃないですけど、特命大使みたいなのを作ったほうがいいと思います。</p> <p>当然、行政の方は行政の方で内勤も外勤もされますけど、彼はたまたま外周りの仕事が多いので景色とか風景とか常にどんどんアップしています。</p> <p>当然主観が入ることがあって、これはまずいよね、ということがあっても事実です。それは問題点だと思います。そういうところで相談いただけたら、喜ぶと思うので声をかけてやってください。以上です。</p>
委員	<p>ぜひご相談いただけたらと思います。</p>
会長	<p>この春からウェブの関係の仕事をしております。</p> <p>「いいね」とかホームページ閲覧数とか今のデジタルの世界では、どこまで深く読むか、滞在時間はどうか。こういう場合、シティプロモーション事業とか、いわゆる市民とかのニーズを図る時にはウェブ上や、SNSで発信していこうとすると、分析というのが非常に大切です。</p> <p>1つ質問ですが分析をどういう風に、情報を発信した時の反応をどのように分析をされているのかお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>それでは、もし事務局からお分りの範囲があれば、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>ご質問のウェブの分析につきましてはホームページ等々でも、どのページにアクセスがあったのかという分析はしております。</p> <p>例えば花火大会のページに集中しているのかとかダリヤ園にいつているのかという分析をしているとは聞いております。</p>
委員	<p>ウェブの世界では何時に細かく見られているのか、どういう世代に見られているのかを分析しています。</p> <p>同じSNSでもFacebookというのは30代40代が中心です。</p> <p>その辺を管理者にプロを入れるという話もありましたけど、分析の方でもウェブだけの話になってしまいますが、これだけスマホが普及している中で川西の皆さんが抱えているイメージを掴んで、市民のニーズを把握するには重要なことだと思います。分析方法・手段というものをちょっと考えてみてはいかがかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>折角のウェブのページの修正等も含めていろいろ工夫しておられます。</p> <p>どんな効果があるのかどうか、そしてどんな使われ方をされているのか、ぜひ可能な限り詳しく分析をされて、より有効なページの作りを考えていくというのを、当然と言えば当然ですがぜひ検討をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>壱熟カレーにつきましては、本学が市と共同開発させていただいておまして、皆さんにもぜひご賞味いただきたいと思っています。あまり具のないカレーです</p>



発言者	発言内容等
	<p>が、大変おいしいカレーです。</p> <p>商工振興事業につきましては、本学としましてもまだまだ一緒にやらせていただける余地というかポテンシャルは持っているという自負はあります。</p> <p>特産品を若い方も動員しながら開発していくということがもっとあっていいのではないかと考えております。</p> <p>源氏うどんというのも勉強不足で知りませんでした。これももっとアピールの仕方を考えていったらいいと思います。</p> <p>実験的に本学もやっているイノシシの佃煮をやらせていただくとか、いくつか試みようとしていることはあるので、その辺りをぜひやらせていただけたらなと思っております。</p> <p>それに少し関連するかもしれませんが、ふるさと納税の返礼品みたいなものでこういうものも前面にだしてもいいのではないかなと感じました。</p> <p>ちなみに今は返礼品というかお返しの商品をやってらっしゃるのかなというのを聞かせただけならと思います。</p>
事務局	<p>返礼品につきまして本市はカタログギフトのように冊子化しまして、それらを皆様にPRしている状況です。</p> <p>中の品としてはお肉とか本市にゆかりのあるプラントハンターの西畠さんのエアプラント等がございます。あとは木製の遊具、パスタなどいろいろなものを返礼品の中に入れてPRもさせていただいております。</p> <p>先程ご賞味いただいた若桃のコンポートにつきましても、今後、返礼品の中に入れていければというような話も聞いております。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>都城市さんですかね。お肉と焼酎だけに特化したところ、ものすごい反響で飛躍的に全国1位までいったということがあったので、カタログ式もいいのかと思うのですが、一方では市が「これ一押しです！というようなものをポンと出していきようなそういう逆にこっちから能動的に絞っていくということもいいのではないかなと思いました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。シティプロモーションということでいうと、あれもこれもということではなくて、わがまちはこれですという、そういうものもあってもいいかな。</p> <p>また検討していただければと思います。その他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先程、吉熟カレーの件が出ました。</p> <p>川西市の特産という事で、JAとしても、他にもいろいろ商品開発をやっているところです。ワイン・カレー・ドレッシング、そして若桃のコンポート、他にもいちじくのジャムもあります。</p> <p>こういったものも、市と連携できるものであれば、連携してやったほうがいいかなと思っております。</p> <p>それとインターネットや広報について、川西じゃらんもそうですが、川西の良さを発信できるようなことを単発的ではなく継続的にやっていかないとけないと思います。</p>

発言者	発言内容等
	<p>また、皆さんの話にもありましたが、川西の中心市街地の関係でキセラと川西の中で大きな公園を作ると聞いております。</p> <p>川西市のエドヒガン桜がもともと有名ですが、古木を公園の中央に移植するそうです。黒川の菊炭の原料も、台場クヌギと言いますが、もっとその辺のアピールをしていけばいいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。もっともっと川西でアピールできることはたくさんあるし、これでもかというくらい新しいものを出していかないと、なかなか注目度は上がらないよということでした。</p>
委員	<p>質問ですが、文化振興事業のアーティストオーディション。</p> <p>若者に発表の場を提供するということではありますが、ただ頭打ちになっているから事業を終了して今後検討するとなっています。現在、代替として構想されているようなことがあればお聞かせいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>現在、これまでの効果も含めてどういうものかというのを検討している段階で具体的な構想はありません。</p>
会長	<p>当然、終了にあたってやられた事業の成果があったわけですね。</p> <p>それを踏まえてもうこれで十分だということなのか、あるいはまだまだもっと広がるのか、あるいは別にもっと工夫をすることでよくなるぞとか何かそういうものはなかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>このアーティストオーディションは特に市内の若者をできるだけ引き出したいというのが大きな目的でした。</p> <p>その中で、市内の若者の参加が少なくなり、少し思惑が変わってきたところですね。アーティストオーディションだけがめざすことではありませんので、ここはいったん立ち止まろうということになりました。</p> <p>違う形で市内の若者が何か文化振興の活力になるものがないか検討するためにも一旦やめましょうということです。現在、積極的に具体的に考えているということではありません。これから探していくという状況です。</p>
会長	<p>他に何かありますか。</p>
委員	<p>文化振興というところで言うと今、高齢社会になってきて、いろんなコンサートや音楽祭、特にクラシックはそうですが高齢の方が熱心に来られています。</p> <p>比較的安い料金で聴けるようなコンサートが多いですが、例えば市内で音楽を学んでいる学生さん達がいたらそういう発表の場を提供していく、そうするとニーズが結構あると思います。</p> <p>そういうのを結び付けて、文化振興も図るし、若者の成長も促進する。技術促進もするということができると思っています。そういうことも検討いただくといいかと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。市内の若手アーティスト発掘事業、もっともっといろんな</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>可能性があるかもしれませんよということでした。</p> <p>今回、この会議で事務局に検討をしてもらいたいと思っていたことがありまして、私自身東京のニュータウンで勤務することが多かったのですが川西市は非常にニュータウンとしての魅力を感じます。</p> <p>若干弱いと言えばシニアの方にとっては、どうしても交通機関の問題等あります。いいニュータウンというのは割と安い値段で、例えばバスの無料券・ずっと乗り放題の券がもらえるといったことがあります。</p> <p>コンテンツがあってもシニアの方に動いてもらえないと集客率が弱いというのを感じています。</p> <p>今回の事業の中でいきますと少し近いのが最初のふるさと再生事業の中の多田グリーンハイツでやられているバスの運行というものです。</p> <p>むしろ一部の市町村で実施しているUber(スマホアプリを使ったタクシー配車サービス)の導入やそういったところをぜひこの機会に検討していただきたいと思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。これから特に団地の高齢化が進むと、日常生活の足の確保というのは非常に重要になってきますし、それがどこまで便利に使えるかでそこに住みやすいか、住んでいる方の満足度が高くなるか全部左右されることになります。</p> <p>この辺り、戦略的にもっと考えないといけないことがたくさんあると思いますので検討いただければと思います。</p>
委員	<p>1つだけ。質問なのですが、このふるさと団地再生のなかで空き家率が非常にあがってきているという話を聞くのですが川西の場合どれくらいまで空き家が増えているのかというのは数値的にご存知なんでしょうか。</p>
事務局	<p>担当は把握しているところですが、今こちらでは持ち合わせていない状況です。</p>
委員	<p>そうですか。</p> <p>ふるさと団地再生の中で親元近居助成制度だけではインパクトが非常に弱いと思います。先程意見も出ていましたが、若者世帯を呼び込むにはそれなりの仕掛けがいると思います。</p> <p>以前にも話が出たとおもいますが、空き家を第3セクターが買い上げて、上手くいくかはわかりませんが、リフォームをかけて新しい若い世代に貸し出すということをやらないと、今住んでおられる高齢の方々に対するサービスだとか居心地の良さを追求するだけではなかなか再生というのは進まないのではないかなという意見です。</p> <p>また、若い世代が入ってくるためには教育若しくは自分の楽しみがそこで味わえるというのが非常に大きな要素だと思います。</p> <p>その2つ、教育と楽しみについて若い世代に対してどういう仕掛け作りをやるかというのがたぶん行政が一番苦労されてやるところだと思います。</p> <p>以前も言いましたが土曜日の授業とか、子どもの才能を伸ばしていくという。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>それは学力であったり技術であったり体力であったりいろいろあると思います。もっとスポーツ少年団のそういう組織を充実させるとかいろんなことがあると思いますので、その辺を検討されてはどうかと思います。</p> <p>空き家関係の話がありましたので補足させていただきます。</p> <p>県下の空き家、但馬とか淡路とか丹波とかについては放置された空き家が非常に問題になっています。</p> <p>地方の空き家の問題というのは放置されて所有者が関与しなくなっていくというような状況がおきたため、新しい法律が制定され、強制力を持たせているという背景があります。</p> <p>一方で阪神間の空き家というのは確かにありますが、そういった内容とは違い、所有者が手放さないのです。</p> <p>川西の場合も同じで、放置空き家というよりは、所有者がそれを処分して次のステージにいかなくても済む。</p> <p>また自分が住宅を買われたという思い入れがある。あるいはご子息が将来帰ってくるのではないかというような期待がある。</p> <p>あるいは現在建物の価格が非常に下がったことに対する損したという気になりたくないなど、色々な理由があるのですが、手放していただけないというのが非常におおきな問題です。</p> <p>住宅メーカーさんにも従前お話を聞きましたが、数がまとまり PR をすれば売れる。けれども出していただけないという状況が続いているのが一番大きな問題で、住宅メーカーとしてもそれをどうやって流通させていくかというのが課題だと思っております。</p> <p>借上げなどの方法についても地方では最終的な手段として、踏み切らなければいけない状況があってやられているところもあります。</p> <p>ただ、公が関与するというのが非常に難しい側面がありまして、特に川西も団地の住宅についてもいわゆる昭和 59 年の新耐震の法律が施行された前の建物が多いので、これに対する責任をどうするかというところで行き詰ってしまう問題があります。ですから、それとは別に流通させて建替えなりにもっていくのが我々の得策なのかなと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>今、言われたことは理解できまして、単純に借り上げてと思ったけどそうはいかないという非常に根が深いという事ですね。</p>
会長	<p>ただそれを流通させるという観点で考えるとそうなのですが、そういう住宅を例えば、所有権は移転せずに地域の為にどう開いていくとか、いろんな活用の仕方というのは全国的に進んでいて、先程の居場所づくりのようところに自分のおうちを解放して使っていただきたいというようなケースも出てきているようです。</p> <p>その辺りは公益的な使い方というの、行政が直接関与しなくても、市民同士で活用してもらおうというような手法も全国的にたくさん開発されていますので、いろんな使い方をぜひ検討していただければと思います。</p> <p>ただ単に新しい人に住んでいただくという事だけではなくて、地域として大いに</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>活用していただきたい。そのことが地域にお住いの方々の元気にもつながっていく、そんな空き家の使い方を考えていただくといいかもしれません。</p> <p>先程の話とかぶるかもしれませんが、川西版じゃらんを作られた経緯で、これは今住んでいる市民を対象として作られたのか、市外の方に来てもらいたくて観光を増やしたいために作られたのかどちらなのでしょう。</p>
事務局	<p>目的としましては、もちろん市外からの交流人口増加という面がございます。ただ、実際市民の方にも実はこんないいところがあるということを知っていただく、自分の市の良さを知っていただく機会にもなるという両面で作成しております。</p>
委員	<p>見させていただくとそうだろうなと思いました。そこで聞きたいのですが、当然リーサスを調べられていると思うのですが、川西の市外から入ってくる一番多い人口ってなんですかというと、実はゴルフですね。1位から5位まで全部ゴルフになっているのが現状です。</p> <p>多田神社も入っていたと思いますけど、ゴルフの部分に関して、何かもう少し施策はないのかなと思います。得意を伸ばす方がいいと私は考えています。</p> <p>例えば今後PRをしたいと思いますけど、ふるさと納税等々でも例えばゴルフの割引チケットがあるとか、やはり民間企業と行政が連携して何かやらないといけないのではないのでしょうか。</p> <p>今回の事業を全部見させていただくと川西の民間企業があまり入っていないと感じられました。</p> <p>民間企業と行政が手を結べていないというイメージがしてなりません。</p> <p>民間企業とっても、実際はじゃらんもリクルートさんといった市外の大手企業です。</p> <p>市内の大手企業さんが入ってきてこういうのを作るのはとてもいいことだと思いますが、そこに市内の小売店もしくは産業をまとめられているゴルフ場とかそういうところも取り入れていくことによって、もっと市外の方から見ても来てみたい、そして市民の方から見てもいいところがあると認知ができればもっといいというのがあります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>魅力発信の点でも、商工業の振興の点でも、いろんな面でむしろ市内にある様々な民間企業と連携してやるともっともっとシティプロモーションにもなりますよということだろうと思います。</p> <p>ゴルフ場のことも含めましてぜひ検討いただければと思います。</p>
委員	<p>私は9年前までリクルートにいてじゃらんで働いていたので、この広告がまずいことはわかります。</p> <p>ゴルフだと男性とか中年の方になってしまい、若い女性にまずは川西市を知ってもらいたい。川西に来て、観てもらってほしい。女子って食べ物好きだから、誌面を思い切り食べ物にしていますね。</p> <p>来てみたら、結婚したらここに住んでもいいかも、というコンセプトだと思います。それが交流人口を増やして住む人を「増やす」の部分になるとは思います。最後</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>ページのところの部分は私もおかしいなと思ひまして。  交流人口を増やしてわざわざ豊中とか神戸から来た人が、買ってまわるかなと思つたら、しないと思ひます。  だから後半は市内のひとで前半は市外の人達となっているけれど、どうしてこうなつたのだらうと考えていました。  ここからは提案ですが、前半に載っているような素敵なお店が本当はもっともつと出ていくと川西市っていうと食の川西市っていうことを伝えられるかもしれません。  また事例になってしまいますが、和歌山の本当に山奥にパン屋さんとかカフェが併設しているところに朝の11時には行列ができるほどの、そんなお店があります。そんなお店が1軒できると、やはり集積していくので、魅力的なお店が増えていきます。  ここに載っている以上のお店があるかどうかまでは私もわからないのですが、そういったところを呼び込むとか、地元の人達と連携するということできていないと感じる部分があります。  空き店舗はあまり駅前にはないでしょうが、郊外の空き家とかに人は車に乗ってきますから。ゴルフに来るってことは車でアクセスする人たちがいるので。  今は空き家でカフェとかパンとか、そういったところで人が来たりするので、ここにもっとお店が載るようなそんな施策も今後検討出来るのではと思つてこれを拝見させていただいておりました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。  折角のターゲットがうまくつかみきれないかもしれないという感じもしてもったいないということかもしれません。  どういう人達に何をどういうふうに伝えたいのかというのが、折角、川西じゃらんなどを作る以上は、もっともつと川西の売り込みたいことをてんこ盛りにしていく努力が必要かなと思ひながら話を聞いていました。  もちろん、あれもこれもやると、あれもこれもダメということになるので、ぜひPRの仕方の工夫も考えていただければと思ひます。</p>
委員	<p>資料を見させていただいて、個人の感想です。  光物、みたいなども検討いただければなというのが個人の感想です。  それと今回10事業やられて従来から取り組まれていることもたくさん入っているのだと思ひます。  理解を深めるために新しく取り組まれたものと従来からのレベルアップのもの。それと川西市のこれらを進める体制、人数・パワーそこの背景を教えてくださいと思ひます。</p>
事務局	<p>今回、お示ししている事業は先行型でやっているところで、既存の事業というのが基本です。  もともと人口減少ということに対して取り組んでいるというのが今の第5次総合計画でめざしていることでもありますので、親元近居やふるさと団地再生に取り組んでいたところなんです。  総合戦略ができてから新規に取り組みましたのは今回の10事業の中にはあり</p>

発言者	発言内容等
	<p>ませんが、ちょうど我々が取り組みをしないといけない、シティプロモーションを展開しようというようなことをちょうどやっているところへ今回の総合戦略及び先行交付金の話がありました。</p> <p>そのため、我々としては交付金をうまく活用させていただいたというようなところ です。</p> <p>また今回、総合戦略を策定する中で、今後更に取り組みでいかなければなら ない新規のものを意識しながら計画を策定いたしました。</p> <p>また、取組みの体制としまして、部署等はここ近年取り組まなければならないと いうことで部署を新たに作るなど、柔軟に対応しております。</p> <p>例えば、住宅政策も特に今年度は力をいれないといけないということで組織改 正をして協力体制をとる等をしています。</p> <p>人数はなかなか厳しい状況ですので重点的に人数を集めているということでは ありませんが、それに応じた体制を組みながらやろうとしている状況です。</p>
委員	<p>それでは、理解としてこういう事業が日常業務の中に盛り込まれているというこ とでよろしいですか。</p>
事務局	<p>そうです。現総合計画の10年間の中の前期が25年度から始まっているので が、そこで中心的にやっといこうと進めていることを重点化して行っています。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>母子保健推進事業、男女共同参画推進事業のセミナー・講習会。 このあたり意見をいただいておりますが、もしどなたかいらっしゃれば、 ご意見やあるいはご提案がありましたらありがたいのですがいかがでしょうか。 もちろん他の事でも結構ですので、何かお気づきの点がございましたら。</p>
委員	<p>10ページにある男女共同参画カレッジですが、こちらは目標が50名で実際に 参加された方が14名しかなくて少ないですね。</p> <p>アンケート調査したことによって需要がわかったというのが実績に書いてあり ますが、適正な講座回数については2～3回であることがわかったと書いてあり ます。既に今年度実施されているのですか。</p> <p>結局このカレッジ自体はその後どうなっていくのかわからなかったのを教えて いただけますか。</p>
事務局	<p>こちらのカレッジの関係ですが、今、ご質問がありました適正な回数でいい ますと2～3回、今年度これらを踏まえていこうと更に企画をしているところ です。</p> <p>アンケートにつきましては、実際にパレットかわにしで女性に関するような講座 も開いておりますので、そういった講座に参加された方を対象に行ったもので ございます。そのため、この母数としましては294名の方にお答えいただいた アンケートで、この講座に参加した14名からとったものだけではありません。</p> <p>ご質問いただいた講座の内容も今後検討していこうと考えているところで ございます。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>今、パレットかわにしなどのワークショップ等に参加されていた方294名ということでしたけれど、そのアンケートに答えていただいた方の年齢層はおいくつくらいでしょうか。希望する講座についてというのが高齢や病人の介護・介助に関するものが一番トップに来ていますが、本来ここは若い世代の結婚・出産の希望をかなえるというところの項目に入っているのでは、ターゲットが20代～40代までなのかなと思います。</p> <p>このアンケート結果にあるような高齢者の介護という世代ではないような気がします。</p> <p>子育て期のパパママの支援に関することはわかりますし、ワークライフバランスもわかりますが、アンケートに答えて下さった方というのはもうすこし上の世代なのかなと。</p> <p>だとすれば、やはりターゲット層のアンケートをより多く聞き取り調査を行って、ターゲット世帯が求めているような男女共同参画カレッジにしていく必要があるのではと思いますが、その辺はどうお考えですか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりで、この辺りやはり高齢の方、それぞれの講座ごとにアンケートをとらせていただいておりますので、そのような傾向が出ているものと思われま</p> <p>す。今後につきましてはターゲットの検討も踏まえて企画を考えていくようにさせていただきます。</p>
事務局	<p>もともとはプレで、今年度本格的にやりましょうということのための事前の講座だったわけです。</p> <p>確かにアンケートも含めてご指摘の様な状況という事は我々も認識はしています。ただ全体としてはここにこの女性の働きやすい環境づくりということで総合戦略にも盛り込み、男女共同のそもそも発想が、ワークライフバランスとこういう女性の立場を中心にしたカレッジがあるだろうというものでしたので、想いとしてはワークライフバランスの問題とか子育て期のパパママの支援を想定しつつやろうとしていることではあります。</p> <p>ただ実際こういうアンケートの結果が出てきてそのことも含めて当然講座として、やっていかなければならないということですよ。</p> <p>ここで少し書いていますが男女共同参画審議会も含めて一定の主旨としては女性の働きやすい環境づくりを中心に取り組んでいきたいと考えて進めている状況です。</p>
委員	<p>ちなみにカレッジは何曜日の何時に開催したのですか。</p>
事務局	<p>申し訳ございませんが、今手元では把握しておりません。</p>
委員	<p>というのはこれだけ人数が少ないですが、まさか平日の昼間とか午前で開催しているとかいう馬鹿なことしていませんよね。</p>
会長	<p>そんなことはないと思いますけどね。</p>



発言者	発言内容等
委員	<p>そうですね。いくらなんでもそれはないですね。</p> <p>というのは介護の問題を抱えているような方が平日の夜や週末のカレッジに来ているとはちょっと考えにくいので。</p> <p>ワークライフバランスについて色々学びたい、市の求めているような若い世代の女性であれば平日の昼間にこういうところに来るようなスケジュールであるはずがない、という部分から何がやりたかったのかよくわかりません。</p>
会長	<p>折角アンケートをとっておられますので、この中身をもう少し丁寧に分析をして、特に若い世代の方々をターゲットにしてそのニーズにこたえるカレッジを作っているということであれば、そこをきちんと踏まえたくて需要にこたえる講座の内容を提供するというのは、まずは必要ですし、それは中身だけではなくて時間・場所の問題を含めてご検討をいただければと思います。</p> <p>また、回数も本当に何をどこまでどういうふうに教えるのかとの関係でしっかり考えないといけないですね。時間も忙しい人達、若い方、働いている方々、本当に忙しいですから、どういう時にどういうふうな開催の仕方をすると一番行きやすいのかぜひしっかり考えていただきたいと思います。</p> <p>このあたり今年度から本格的にということですので、ぜひ工夫をしていただきたいと思います。</p> <p>他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>10ページの女性が働きやすい環境づくりというところですよ。</p> <p>私は労働組合の立場で参加させていただいているので、私たちのスタンスは企業側に女性が働きやすい環境を作っていただくように働きかけというのが主な取り組みです。</p> <p>行政としてなかなか企業に訴える事は難しいでしょうけど、川西市として何か企業の皆さんに対して働き掛けているということがあれば教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>詳しい所はわかりませんが企業を指導するような、例えば長時間労働とかそういうことも含めて市が直接関わってやっているかということ、基本的にやっていないと思っています。</p> <p>そういう環境づくりのところでも今後、必要なかどうかは総合戦略の中で検討している部分でございます。</p> <p>できること、できないことを見極めながら検討していきたいという内容です。</p>
委員	<p>指導というと聞こえがきついで、お聞きしたいのは、あくまで働きかけです。</p> <p>指導というとちょっと違ってくるのかなと思います。働きかけを川西市としてされているのかなって。</p>
会長	<p>そうですね。PRとか情報提供とかいろんなやり方はあると思います。指導になると労働基準行政になりますので。</p> <p>この辺りはワークライフバランスを市民の皆さんに広く知っていただく、事業者の方にも知っていただく。これも大事かと思えますし、男女共同参画、女性の働き方についてももっともっと理解を深めていただくというのも当然大事ですね。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>いろいろなやり方があると思います。工夫をぜひ考えていただけたらと思います。当面のターゲットを働く若い方々、女性に直接的な働きかけになりますが、働きやすい環境・ワークライフバランス・住みやすい環境、それをどう作るかというのも市の役割かもしれません。</p> <p>ひとつは先程から出ていた Facebook のことや、シティプロモーションのことが、まさしく多くの協力者とか多彩な知恵がいるわけですね。だから市内のいろんな担い手を掘り起こしていかないとと思います。</p> <p>もうやっていると思いますが、一昨年に市政 60 周年をしていましたよね。私は三田から見ていてうらやましいなと思っていました。</p> <p>「あと何日」とか担当の人も調子がいいし、若い学生が関わっていて、大和団地で神戸大学の子が頑張っているのを見て川西市いいなと思いました。あの盛り上がり、あのネットワークは相談相手としてとてもいいと思いました。</p> <p>もう一つ思ったのは、これはやはり色々な関係者の方が来る場なのでもう少し課題が見えた方がいいと思います。</p> <p>これは良い所ばかりで外を掘っていかないと足元を崩せないみたいなのところがあって。</p> <p>ご意見だけ下さいという場ではなく、一緒に川西を盛り上げていこうという会議だと思うので、むしろ課題が書かれていた方が、もっと身近にこの計画の実現を考えることが出来ると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ぜひ盛り上げるべく参考にさせていただければと思います。</p>
委員	<p>この平成 28 年 3 月に出ている、あんばい ええまち かわにし創生のリーフレットですが、去年会議に出席させていただきました。</p> <p>私も日常忙しくてなかなか動きがわからないんですけど、全部まとめてから出されるよりも、こんなことやっているというのを、関わっているかぎりはリアルで見たかったです。</p> <p>次はもう少し小出しにメール 1 本でかまいませんので、こういうことをやっていますと教えていただきたいというお願いです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>折角やっているのに、その情報が届いていない。どこかの段階で何か溜まっていたのが出てくると面白いとなります。でもそれが必ずしもタイムリーではない。</p> <p>本当に早い段階でいろんな情報をリニューアルして届けていただくと食いつき方もずいぶん違ってくるのではないかというお話をいただいたような気がします。</p> <p>ぜひ情報発信の仕方、どの事業もそうですけど工夫をしていただければと思います。情報の集め方、載せ方、アクセスの仕方含めて工夫をしていただければと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>妊婦健診事業はどなたも一言もおっしゃっておりませんが、回数自体はあまり伸びていないようですが、これはおそらく健康診査に対する</p>

発言者	発言内容等
	<p>理解とか、ただ単に補助金だけの問題だけでなく、母子共々の健康づくりといったようなもう少しトータルな事業として、その中に健康診査の支援ということが入ってこない、なかなかこれ単体で評価をしるといっても難しいかもしれないと思いながら拝見していました。</p> <p>金額的には大きな支援になっていますが、同時にこれだけが経済負担ではありませんので、もう少し母子の健康ということも当然、担当としてはトータルに考えておられると思いますが、その一環としてこの健康診査、これをもっと活用していただく、そういうことをどう進めていったらいいのか、工夫があると、この制度も生きてくるかなと思います。</p> <p>健康診査自体は本当に大事な事業ですので、その時に合わせて母子保健に関わる相談であるとか生活に関わるさまざまなインストラクション、アドバイスであるとか、そういうこともとても大きな役割を出していただけたらと思います。</p> <p>総合的な事業として考え、他の事業とどう効果的に結びあわせていくか、そんなことも考えていただくと、もっとこの事業も伸びて効果が上がっていくと思います。</p> <p>本当の意味で母子共々健康に出産、その後の子育てができる、そんな状況を重要なアウトカムにしていただければと思います。</p> <p>そのほか、各委員から言い忘れたということがあればいただければと思います。予定の時間が来てしまいましたので、そろそろ閉じたいと思っておりますが、言い残したことなどございましたら、よろしいでしょうか。</p> <p>まずは、今日ご報告いただいて市として取り組んだ事業の成果について各委員からいろいろご意見をいただきました。</p> <p>もしも今後委員の皆さんがそれぞれ更にこれらの事業に加えて、こんなこともやってみたらとか、ぜひこういう試みをしませんかというご提案をしてみたいということがありましたら、最後にいただければと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>だいたいお話してしまいましたか。</p> <p>総合戦略 2 年目、そしてそれを更にブラッシュアップさせる、そういう時期にきております。</p> <p>今日のさまざまなご意見を踏まえて更によりよい川西の地方創生戦略が進んでいくことにつながっていただければというふうに思います。</p> <p>それでは議事は以上です。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>